

歯をぴかぴかにしようね

対象児:年中児さくら組

作成日:2022年6月6日

作成者:大石京香

ねらい:紙芝居や制作を通して歯の大切さや歯磨きの大切さを知る。



振り返り:6月は歯磨き週間ということで、子ども達にも歯の大切さや歯磨きをしなかったらどうなるのかということを知って欲しいこともあって、歯について興味を持てるように制作をしたり、紙芝居を通して学んでいきました。制作では絵の具で自分の顔と口を絵描き、折り紙を好きな大きさに切って歯を作って活動していく中で「はぶらしとコップもいるよな」という子ども達からの提案があって、はぶらしとコップも作りました。大きな口を開けて歯磨きをしている絵が完成し、幼稚園では感染対策ということもあって歯磨きが出来ないけれど、子ども達が目で見て意識出来るように6月の壁面として飾りました。

毎日の生活の中で絵本に親しむ時間は多くありますが、紙芝居に触れる時間が少ないことを感じた為、歯についての紙芝居をみんなで見ました。読み終わった後に「はみがきしなかったらむしばになるんよな」「むしばになったらはいしゃさんにいかないかので」「ごはんをたべたらはみがきしないといけないね」といろいろな会話が聞こえてきたり、友達同士で話し合っている声が聞かれて、保育者がただ話をするのではなく、紙芝居や制作を通して自然と子ども達の中で学びに繋がっていることを感じ、日々の保育の活動からもたくさんの学びがあるんだろうなと思います。子ども達がいろいろなことを知ったり、学んだり出来るような環境を作ったり、子ども達の興味のあることに一緒に目を向けながら保育を楽しみたいと思います。(協同性、社会生活との関わり、言葉による伝え合い)